

きらり

私たちは「きらり」と輝くんや

平成21年7月1日(水) 山根

「中体連」本番だ！

いよいよ7月4日・5日を(7月7日も)基準日に赤穂市中学校体育連盟主催の体育大会が行われる。

この大会は、西播大会、県大会、近畿大会、全国大会へと繋がって(種目により少し異なるが)いる。

まずこの試合に勝ち、次の大会へとステップアップしたい。

そのために、日々の厳しい練習に耐え、遊びたいときも我慢して部活動に励んできた。



「勝ちたい」と思い、真剣に練習した。「これ以上、自分にできることは何もない」そう思えるところまで練習した。だから、後悔はない。と思いたい・・・。

皆さんは、どのように思っているのでしょうか。

このように考えることができるということは、「中学校時代に夢中に打ち込めるものがあった」こと、また、「毎日ひたむきに生きてきた」という「証(あかし)」であり、充実感と満足感に満ちあふれていると思います。

しかし、現実はまだなかなかそうはいきません。「もっと一生懸命やっておけば良かった」「あれもしておけば良かった、これもしておけば良かった」「やれることはまだまだあるはず」と思っている人の方が多いんじゃないでしょうか。

試合に勝つことは大変嬉しいことです。しかし、そう簡単に勝てるものではありません。だから、試合に負けてもかまいません。ただ後悔するような負け方だけはして欲しくないのです。

たとえ負けても「これだけやったんだ。十分だ」と思えるものにして下さい。

中学校時代の部活動で、試合に勝った人も、負けた人も、「後悔しないようにやること」「やるべき時にやる」「努力なくして、いい結果が出るはずない」ということ(勉強も同じ)を学んで欲しいのです。

部活動は、このことを、これから大人になっていくみんなが、身につけていくための学習の場です。
がんばれ 坂中生！